

船舶インシデント調査報告書

令和5年3月22日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（バッテリー過放電）
発生日時	令和4年8月13日 10時00分ごろ
発生場所	福岡県宗像市地ノ島北北東方沖 倉良瀬灯台から真方位028° 4.8海里付近 （概位 北緯33° 59.4′ 東経130° 31.4′）
インシデントの概要	プレジャーボートめだか丸Ⅱは、錨泊中、船外機が始動できなくなり、運航不能となった。
インシデント調査の経過	令和4年8月29日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	プレジャーボート めだか丸Ⅱ、5トン未満（長さ4.43m） 290-19702福岡、個人所有 ガソリン機関、船外機、2サイクル、出力29.42kW、回転数毎 分5,500、3気筒、ボア67mm、使用燃料ガソリン、昭和56 年7月進水
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 2、視界 良好 海象：波高 約0.5m
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、親族3人を乗せ、船外機を停止し、錨泊して釣りを行った後、釣り場を移動する目的で、船外機を始動しようとしたところ、セルモータが回らず、始動できなかった。</p> <p>船長は、予備のバッテリーに切り替えて船外機の始動を試みたが、セルモータを回すことができず、航行不能と判断して携帯電話で海上保安庁に救助を要請した。</p> <p>船長及び親族3人は、来援した海上保安庁の巡視艇に移乗して漁港に運ばれた。</p> <p>本船は、来援した水難救済会所属の船舶によって漁港にえい航された。</p> <p>バッテリー及び予備のバッテリーは、本インシデント後、船長と電気業者が点検を行った結果、劣化が進み、バッテリー液面が最低液面線以下に低下した状態で、蓄電容量が低下していたことが判明した。</p> <p>バッテリー及び予備のバッテリーは、約2～3年使用されており、本インシデント時、約8か月ぶりの使用であった。</p> <p>船長は、本インシデント前日にバッテリー及び予備のバッテリーを充電したので、十分に充電されたと思っており、また、バッテリーに不具合</p>

	<p>を生じたことがなかったので、長期間保管する際にバッテリーの充電、出航前等にバッテリーの電圧及び液量の確認を行ったことがなかった。</p> <p>バッテリー製造業者のホームページによれば、バッテリーの寿命等について次の旨の記載がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) バッテリーの寿命は、約2～3年で定期的な交換を推奨する。 (2) バッテリー液量が、最低液面線以下に低下した状態で使用を続けた場合、性能が発揮できず、バッテリー内部の劣化が進み、バッテリーの寿命を縮める。 (3) 長期間使用せずに保管する場合、バッテリーを放電状態で保管すると性能の低下や充電しても以前の性能は発揮できず、回復しない状態になることがあるので、定期的な充電（3か月に1回程度）が必要である。
<p>分析</p>	<p>本船は、約8か月間バッテリーの充電、並びに約2年以上バッテリーの電圧及び液量の確認が行われていない中、船長が前日にバッテリーを充電して十分に充電されたと思って出航し、蓄電容量の低下した状態のバッテリーの使用を続けたことから、錨泊後、バッテリーが過放電してセルモータを回すことができず、船外機が始動できなくなって、運航不能となったものと考えられる。</p> <p>本船は、バッテリーに不具合を生じたことがなかったことから、長期保管の際に定期的にバッテリーの充電を行っておらず、また、前日にバッテリーを充電する際にバッテリーの電圧及び液量の確認が行われていなかったものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本インシデントは、本船が、約8か月間バッテリーの充電、並びに約2年以上バッテリーの電圧及び液量の確認が行われていない中、船長が前日にバッテリーを充電して十分に充電されたと思って出航し、蓄電容量の低下した状態のバッテリーの使用を続けたため、錨泊後、バッテリーが過放電してセルモータを回すことができず、船外機が始動できなくなったことにより発生したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小型船舶の船長は、バッテリー（予備バッテリーを含む）を長期間保管する際、定期的に充電を行い、また、発航前等にバッテリーの電圧の計測及び液量の確認を行い、十分に充電されていることを確かめ、蓄電容量の低下したバッテリーを使用せず、定期的に新替えを行うこと。